

多摩川水辺の楽校 子どもシンポジウム川崎 [2月28日]



午後1時からエボックなからはらで、俳優で市の教育委員である中本賢氏の基調講演の後、対岸の3団体を含む9団体の発表がありました。「多摩川で輝く子どもの未来」の副題のとおり、それぞれが多摩川の環境学習をとおりて、学んだことを生き生きと発表されていたのが印象的でした。

また、自分たちで観察し、いろいろ調べ、わからないことは専門家にデータを送るなど、疑問は徹底的に追求し、トンボの新種の発見などとの報告もありました。時間が短く感じられた充実の3時間余でした。

多摩川でみられる樹⑥ サクラ

3月初旬、宿河原堰堤の
カワツザクラが5分咲きになりました



花木として親しまれるサクラはバラ科サクラ属の中の一類です。ヤマザクラやエドヒガン、オオシマザクラなど9種の野生種と、野生種間の交雑等により生じ栽培された園芸種を合わせて400種以上もあります。ヤマザクラやエドヒガンは20m前後の高木となり、長寿のエドヒガンには推定樹齢1000年を超す巨木もあります。日本人のサクラを鑑賞する歴史は古く、古事記や日本書紀にサクラが記載されています。多くの園芸種が鎌倉期に出現しましたが、園芸種の代表格であるソメイヨシノは江戸末期に江戸の染井村で「吉野桜」の名で売り出され、明治期に全国に広まりました。花が大きく萼片に鋸歯があり、花柄、花柱、葉柄に毛があるのが特徴です。接ぎ木で増殖

させることや、病虫害に弱いこと等から寿命が50～60年と短いようですが、適切な植栽管理を行うことによって長寿命も期待できます。

多摩川にはサクラの名所が数多くあり、浅川上流域の多摩森林科学園のサクラ保存林では250種のサクラが見られます。



みんなで歩こう散策こみち 多摩川博2014年度散策イベント

川崎の史跡訪ねとコミュニティー施設等を訪問し交流を深める新企画の「散策こみちII」が集中的に開催されました。イベントと同時にせせらぎ館内の展示では2月は東京農業大学野鳥の会の登戸周辺野鳥写真展、3月は川崎臨海部工場夜景写真展が開催されました。



第一回：12月20日 「多摩川のゼロポイントから大師河原干潟館」羽田大鳥居～羽田の渡跡碑～干潟館へ到着。干潟館の皆さんから館内説明を受けながらの交流が図れました。

第二回：1月17日 「六郷橋の川崎・大田区の旧跡と東海道かわさき宿交流館」川崎河港水門～六郷の渡跡碑～交流館へ。専任ガイドさんの熱い説明を受けた初めての交流。

第三回：2月15日 「多摩川から二ヶ領用水を経て生田緑地公園」筏道～二ヶ領用水と新三沢川の立体交差点～廣福寺へ。生田緑地園内で東京農業大学野鳥の会と野鳥観察会。

第四回：3月4日 「河口を船で見学～かわさきエコ暮らし未来館」川崎港から巡視船「つばさ」に乗船～日本夜景遺産に登録された川崎マリエン～かわさきエコ暮らし館。

【散策後のアンケートからみた声】

- 第一回 「羽田旧レンガ堤、老舗店の佃煮にも満足」「干潟館の対応に感謝します」
- 第二回 「京急の駅の遺構を初めて知りました」「西岸の旧跡も特色があり面白かった」
- 第三回 「初めての野鳥観察、ウォーキング兼ねてとても良いコースだと思います」
- 第四回 「川崎港がどれだけ重要か再認識しました」「新発見もあり楽しめた」

多摩川エコミュージアム★イベント情報

- 4月 4日(土) 9:00 多摩川・二ヶ領用水クリーンアップ
12:00 第11回多摩川桜のコンサート
7日(火) 10:30 多摩川幼児サロン・なかよしランド*(リトミック)
11日(土) 10:00 はまだいこんプロジェクト(とどろき水辺の楽校)
18日(土) 10:00 開校式と干潟観察会(だいに水辺の楽校)
26日(日) 10:00 開校式(かわさき水辺の楽校)
29日(祝) 9:00 多摩川歩き隊奥多摩昔道セラピーウォーク
10:00 開校式・防災紙芝居等 昼食付*(とどろき水辺の楽校)
- 5月 4日(祝) 11:00 小菅村(山梨県)源流祭り参加(バスツアー)
9日(土) 9:00 多摩川・二ヶ領用水クリーンアップ
12日(火) 10:30 多摩川幼児サロン・なかよしランド*(リトミック)
23日(土) 13:30 総会(多摩川エコミュージアム)
30日(土) 9:00 多摩川・二ヶ領用水クリーンアップ(八千代銀行共催)
31日(日) 10:00 川崎市域水辺の楽校 合同干潟観察会 弁当持参*
*印のイベントは参加費200円

館内展示予定

- 4月展示／たまがわの野草100選 原画展
- 5月展示／線で描く水彩スケッチ展
折り紙による五月人形(兜)展

※詳しくは二ヶ領せせらぎ館

044-900-8386まで、お問い合わせください。